

向島南だより

平成 25 年度 臨時号
京都市立向島南小学校
校 長 桂 裕之

平成 25 年度 後期 学校評価アンケート結果

例年なら、春めいてくる頃ですが、今年は冬の寒さが3月に入っても続いています。

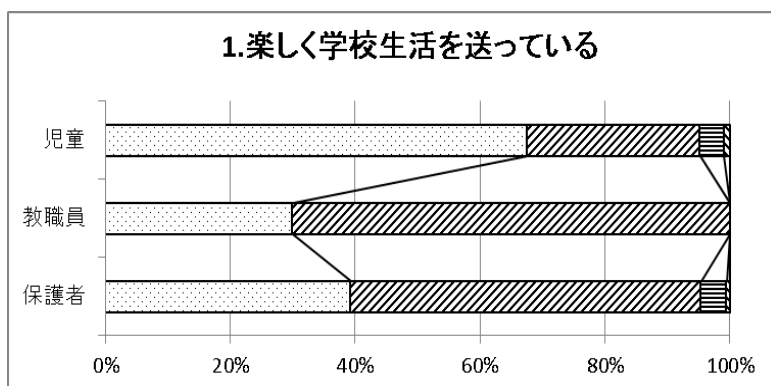
保護者や地域の皆様には、本校教育に日頃よりご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

先日、ご協力をいただきました「後期 学校評価アンケート」の結果を児童へのアンケート、教職員の自己評価の結果とともにお知らせいたします。

アンケート結果【実現度】（できているか）をグラフにして表しました。

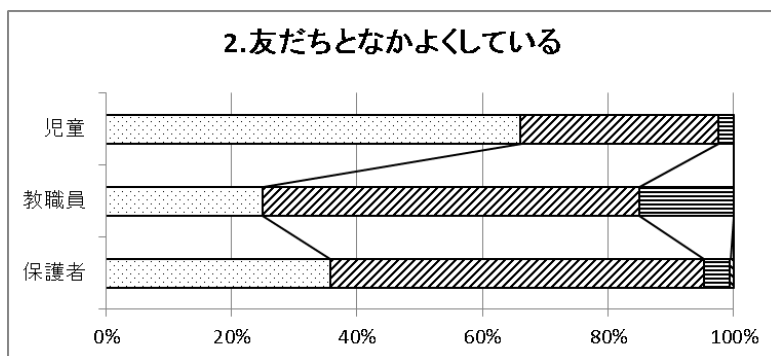
よくできている だいたいできている あまりできてない できてない

1. 楽しく学校生活を送っている



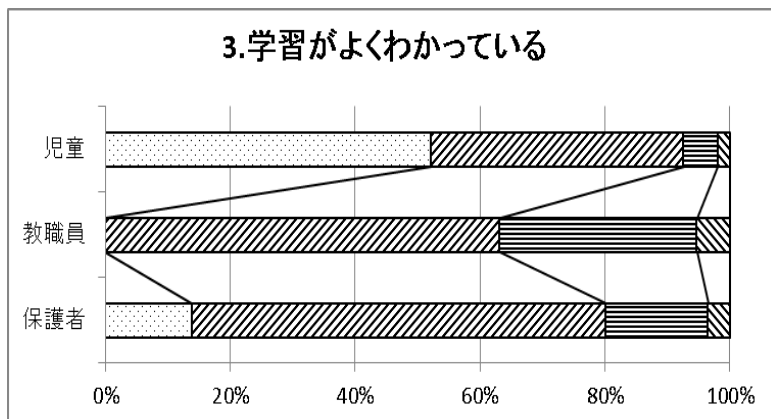
前期と同じく児童・保護者が「楽しく学校生活を送っている」という回答を寄せている。しかし、「学校生活が楽しくない」と回答している児童・保護者がわずかに存在していることを念頭に置き、一人ひとりが大切にされているか常に検証しながら、学校教育活動を推し進めていきたい。

2. 友だちとなかよくしている



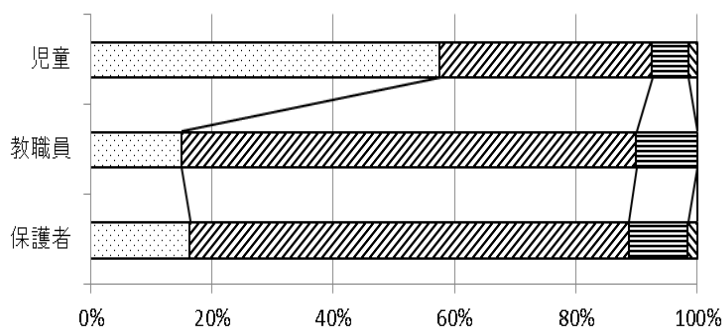
教職員の中にも友だちと仲良くできていないと感じている者もあり、人間関係が希薄になり、集団の絆づくりが今一層求められていると考える。そのため、仲間のよさを認め、何でも話し合える集団をめざして今後も取組を進めていきたい。

3. 学習がよくわかっている



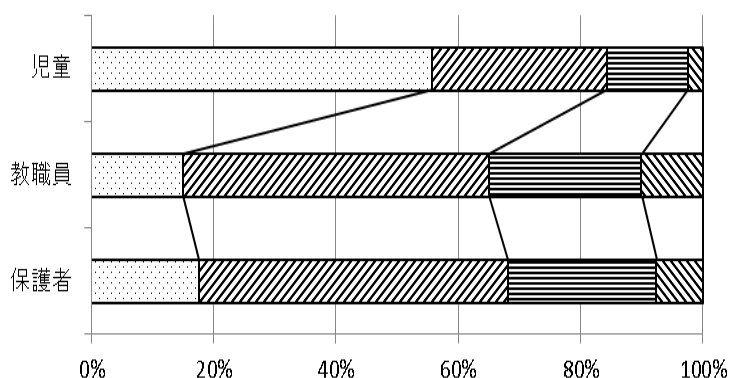
前期と同じように児童・教職員・保護者の認識にずれがあるが、後期になると学習内容が難しくなったり、積み重ねの学習が増えたりして、わかってないと回答する割合が児童・教職員・保護者とも増えている。個別指導や協力指導・問題解決的な学習パターンの確立などだれもがわかる授業をめざしていく。

4.学習規律を守り、学びの場にふさわしい態度で授業を受けている



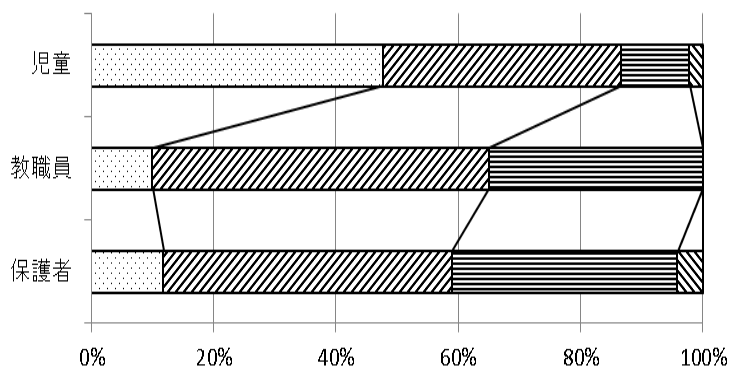
1時間の授業の中で「話す・聞く・書く時間等」けじめをつけて授業を受けることを教職員は、目指しているため、児童の意識とずれが生じていると考える。保護者の皆様も参観・自由参観で様々な授業を見ていただいたり、学校の授業の様子を子たちから聞いていただいたりして、授業態度について話し合っただけであればと考えている。

5.家庭学習をする習慣が身についている



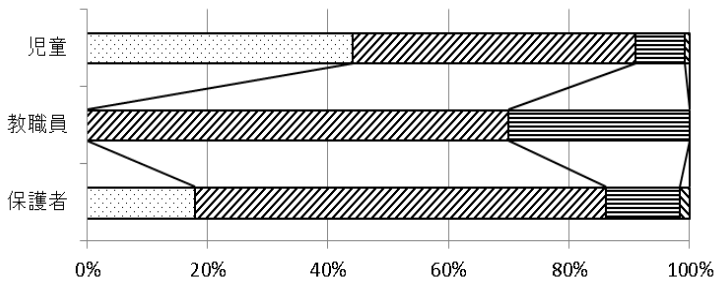
教職員は、前期に比べできるようになってきていると感じているが、一方で「できていない」という保護者・教職員も増えている。すなわち、宿題も含めて家庭での学習時間が確保されていない児童の割合が増えていると考えられる。15分×学年分の家庭学習時間の確保を家庭でもお願いしたいと考える。

6.すすんであいさつができる



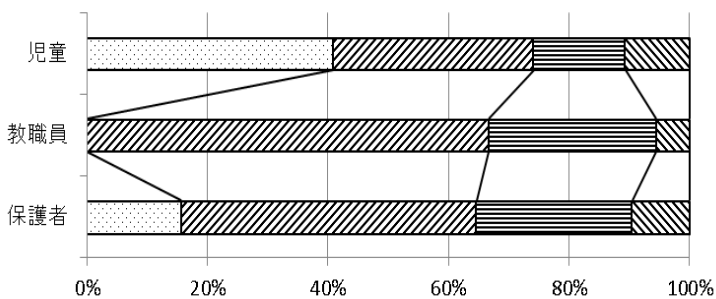
前期に比べ、保護者の評価が厳しくなっている。学校では、教職員がかなり呼びかけをしたため、あいさつができるようになってきたと教職員は捉えているが、来校された保護者や地域の方に対しては、あまりあいさつができていないのではないかと考える。今後、教職員だけでなく、来客者などにもきちんとあいさつをするよう呼びかけていきたい。

7.ルールやマナーを守ろうとする 規範意識が育っている



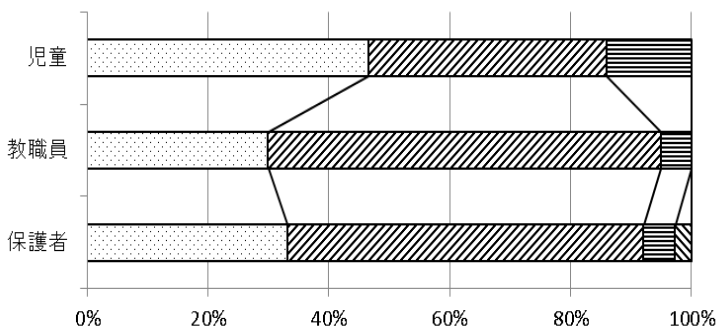
全体的に前期と同じか少し良くなっている。学校でも当たり前のことを守れない子はいるものの、徐々に規範意識を守れる子が育ってきていると考える。今後も大人が見本を示す姿勢を大切にしてルールやマナーを守る子を育てていきたい。

8.早寝・早起きなど健康で望ましい生活習慣が身についている



「できてない」割合が前期に比べて増え、夜更かしなどが、常態化している子がいると考えられる。登校時間に遅れて来る子もいて、夜型の家庭生活をそのまま学校に持ち込んでいるようにも考えられる。基本的な生活習慣の確立を家庭でも呼びかけていただき、心身とも健全な体で登校させていただければと考えている。

9.教職員は、子どものことに親身になって対応している



児童と教職員との距離が前期に比べて縮まり、児童の評価がよくなっている。一方で保護者の中には、厳しい評価の方もおられる。このことは、おおむね学校では、個別に教職員が話しかけてはいるが、子どもの悩みやトラブルが学校では解決されず、家庭に持ち込まれているのではないかと考えられる。学校では、全教職員が全児童に関わるという姿勢で、より緻密な対応に心掛けていきたい。

保護者の自由記述より

○学校での生活の様子がわからない。学校に安心して登校させられない。

➡ ご家庭でわからないこと、不安に思われていることについては、いつでもご遠慮なくご来校いただき、担任や他の教職員にご相談ください。また、参観・懇談・自由参観にもどんどん来ていただき、学校の様子、お子達の様子を見ていただいて、気のついたことがあれば、学校にご相談ください。

○参観に行った時、発表の声が小さかった。先生も注意されていないのは不思議です。

➡ 本校では、「声のものさし」の掲示物を教室に常掲し、場面場面に応じて声の大きさを子どもたちに意識させる取組を進めています。しかし、なかなか定着していないのも事実です。今後も声の大きさを意識するよう全教職員で取り組んでいきます。

○広島に修学旅行にいかなくなったので平和学習をもっと取り入れてほしい。

⇒ 平和学習は、社会科の歴史学習の他、国語科の教材などでも扱いますので、どの学年でもほぼ何らかの形で授業で扱っています。広島に行かなくても図書室の本やインターネットでもいくらでも調べることができますので、ご家庭で声かけをしていただいて、授業で学んだことをさらに深めて調べてほしいと思います。

○英語の授業を増やしてほしい。

⇒ 以前は、外国から来られた ALT の先生が来られたときを中心に外国語活動の授業が行われていましたが、今は担任が行う授業も増えてきました。平成 28 年度に学習指導要領が改訂になり、英語が教科として 3 年生から導入されます。それまでは、現行の時間内でより充実した内容の英語活動を目指していきます。

○全学年に交通ルール・マナーを知る時間を設定してほしい。

⇒ 全学年、学級活動の時間に安全ノートを利用して、交通ルールなどについて学習しています。また、地域の交通安全推進委員のみなさんにお世話になり、自転車の正しい乗り方についても指導していただいています。さらに、自転車の実技を入れた検定試験が警察と連携して実施できないか検討していきます。

○あいさつをしっかりとする子、しない子がいる。学校内だけでなく登下校でのあいさつが大切なのでは・・・また、無表情の子どももいる。

⇒ おっしゃる通りです。地域・家庭・学校が継続して取り組んでいくことが大切です。児童会での取組・PTA のあいさつ運動も続けていきたい取組です。
また、起床時刻が遅いために、心身ともに目覚めずできず、こちらからあいさつしても無表情で返事が返ってこない子がいるのも事実です。家庭に基本的な生活習慣の定着をお願いし、しっかりとあいさつできる子を育てていきたいと考えています。

○担任によって宿題の量や内容に差があるのが気になる。

⇒ 学年によって宿題の量はちがうと思いますが、クラスによってちがいが出ないよう学年で綿密に打ち合わせていきます。

○先生の数を増やしてほしい。また来年度クラスの人数が 40 人近くなるので、もう 1 クラス増やしてゆったりした環境で学習できないか。

⇒ 教職員の人数やクラスの定員は、法律や条例で決められており、教職員やクラス数を増やすことはできません。ただ、支援員やボランティアを効果的に活用してできる限り個別指導等に当たっていききたいと考えています。

まとめ

○前期の結果と比べ良好になっていると考えられる項目もあれば、厳しい結果になっている項目もある。また、児童・保護者・教職員の意識のずれが見られる項目もある。このことを教職員もしっかりと認識し、児童の指導にいかしていきたい。

○今年度の結果を受け、来年度も学習指導はもちろんのこと、規範意識のより一層の確立や基本的な生活習慣の定着を意識しながら、本校教育を推進していきたい。